会議結果

次の付属機関等の会議を下記の通り開催した。

付 属 機 関 の 名 称	みよし市環境審議会		
開 催 日 時	令和元年 10 月 17 日（木曜日）午後 2 時から午後 3 時 20 分まで		
開 催 場 所	みよし市役所 3 階 301 会議室		
出 席 者	会 長：柴本 信之 副会長：功刀 由紀子 委 員：新美 貴宏、松浦 喜七、佐藤 朝生、伊藤 欽治		
次 回 開 催 予 定 日	未定		
問 合 せ 先	環境経済部 環境課 担当 西世古 電話 0561-32-8018		
下 欄 に 掲 載 す る も の	・議事録全文 ・議事録要約	要約した理由	
審 議 経 過	<p>《議事》</p> <p>【環境経済部次長兼環境課長】</p> <p>皆様には、大変お忙しい中、お集まりいただき、ありがとうございます。定刻となりましたので、只今から、令和元年度第2回環境審議会を開会いたします。</p> <p>開催にあたり、柴本会長よりご挨拶をお願いいたします。</p> <p>【柴本会長】</p> <p>皆さまこんにちは。会長の柴本です。本日は皆様お忙しい中、本審議会にご出席いただき誠にありがとうございます。</p> <p>この環境審議会は、環境の保全、環境美化に関する審議を行うこととされております。</p> <p>本日は、報告事項として、私と功刀副会長がプロポーザル事業者選定委員として出席及び審査いたしました「みよし市環境基本計画」の策定業務委託業者の決定と事業の実施計画の説明及び「新リサイクルステーション」についての進捗状況を説明させていただきますので、よろしく申し上げます。</p> <p>簡単ではありますが、開会のあいさつとさせていただきます。</p> <p>【環境経済部次長兼環境課長】</p> <p>ありがとうございました。それではお手元の「次第」に従いまして進めさせていただきます。なお、取り回しにつきましては柴本会長に申し上げます。</p> <p>【柴本会長】</p> <p>それでは、みよし市環境基本計画について事務局より説明をお願いします。</p>		

【環境経済部環境課副主幹】

失礼いたします。環境課西世古です。

報告事項1として、先ほど会長からありました、環境基本計画につきましてご報告させていただきます。

みよし市環境基本計画策定業務委託事業としまして、令和元年6月7日から令和元年6月20日にかけて事業者の募集を行いました。

1次審査として書類審査を行い、2次審査として会長、副会長にもご出席いただきプレゼンテーションによる審査を行い、本日こちらに出席いただいております、株式会社エックス都市研究所を委託事業者として選定し契約いたしました。

こちらの事業者に今年度、来年度の2年間にわたり業務を実施していただきます。

これから、受託事業者であります、エックス都市研究所から、環境基本計画策定に当たり、事業計画を説明させていただきますのでよろしく願いいたします。

【エックス都市研究所】

この度、業務を受託させていただきましたエックス都市研究所の丹羽と申します。みよし市環境基本計画の策定に向けた業務についてご説明させていただきます。

資料の確認をお願いいたします。

まず「みよし市環境基本計画策定業務委託実施計画書」、参考1「堺市環境基本計画の抜粋」参考2「豊田市環境基本計画の抜粋」でございます。市民意見交換会のチラシの案をお配りしております。

また、参考資料1として「省エネ診断調査票」、参考資料2として「省エネ診断実施例」、参考資料3として環境省の補助事業「地方公共団体カーボン・マネジメント強化事業」、参考資料4として同じく環境省の補助事業「地域の防災・減災と低炭素化を同時実現する自立・分散型エネルギー設備等導入推進事業」でございます。

それでは、実施計画書の1ページをご覧ください。

業務の実施体制は表のとおりです。また今回、計画をより具体的で実効性の高いものとするため、2ページの実施体制図のとおり、省エネ診断、遮熱工事、地中熱利用、そして生物多様性に関する専門事業者・団体から出向社員を得て、業務に当たらせることとしております。

3ページをご覧ください。業務の基本方針は大きく三つございます。

まず、専門人材の活用による実効性と実現可能性を備えた、みよし市ならではの計画づくりです。先ほど申し上げたとおり、弊社の人材に加えて出向社員の参加により取り組んでまいります。

次に、コミュニケーションの重視です。市民との意見交換会やアンケート調査など計画の策定プロセスにおけるコミュニケーションにより、多様な主体の参加とコラボレーションを誘導してまいります。そのため、成果物として、環境基本計画の本冊の外、市民や職員の目に触れる概要版の充実、そし

て中学生を対象とする子ども版を製作いたします。

特に、子ども版については、地球規模の広い視野から環境問題を捉えていただくという意味で SDGs との関わりを重視することも検討してまいりたいと思います。

参考 1 は大阪府堺市の環境基本計画ですが、これは環境基本計画の各項目を SDGs と関連付けて説明しております。また、参考 2 は豊田市の環境基本計画ですが、こちらはコラムというかたちで SDGs の解説を加えております。これらを参考にして検討していきます。

三つ目は、PDCA サイクルを有効なものとするための成果の可視化です。今回実施するアンケート調査は中間評価や次回の策定にも引き続いて使用し、施策の成果を把握できるよう工夫してまいります。

4 ページをご覧ください。計画の全体像でございます。自然共生・資源循環・低炭素を統合するかたちで持続可能社会を実現し、「みんなで育む 笑顔輝く ずっと住みたいまち」の形成に貢献できる計画としてまいります。

5 ページをご覧ください。全体のスケジュールでございます。

現在、先行して「現状の把握とポテンシャル検討」に着手しておりますが、本日の第 2 回環境審議会において実施計画書のご審議をいただいた上で、市民意見交換会を実施させていただき、その結果を踏まえながら、目標の検討、骨子の検討を行い、今年度末の第 3 回環境審議会において基礎調査の報告と環境基本計画の骨子をお諮りいたします。

来年度は、市民意見交換会の結果などを踏まえてアンケート調査を企画し、第 1 回環境審議会に諮ります。

その結果を受けて環境基本計画中間案を作成し、第 2 回環境審議会に提出いたします。審議会でのご意見により修正を加えた上でパブリックコメントを実施して、計画の最終案、概要版及び子ども版を作成し、第 3 回環境審議会でご審議いただいて来年度末に計画策定に至ります。

6 ページをご覧ください。現状把握とポテンシャル検討の内容について、ご説明いたします。表側（ひょうそく）をご覧くださいますと、調査対象とする分野が書いてございます。環境を巡る社会動向・地域特性、資源循環、低炭素、自然共生の各分野が対象となります。

まず、環境を巡る社会動向・地域特性については、国際動向、地域特性の外、みよし市の総合計画や関連計画との関連性を整理いたします。

次に、資源循環については、既に策定されている、みよし市の一般廃棄物処理計画を参照するとともに、潜在的な可能性（ポテンシャル）として家庭からの生ごみや下水道汚泥のメタン発酵、さらにはメタンガスを使った発電について検討を行います。

低炭素については、国が地方公共団体に義務付けている地球温暖化対策実行計画（事務事業編）として、みよし市の公共施設から排出されている温室効果ガスの把握と省エネ診断を行います。そのポテンシャル検討として、主要 16 施設における高効率機器への更新による温室効果ガスと光熱費の削減効果、さらには機器更新経費との収支予測を行います。恐れ入りますがお手元の資料には主要 10 施設となっておりますが、16 施設に訂正させていただ

きます。

また、同じく地球温暖化対策実行計画（区域施策編）として、市域からの温室効果ガスの排出状況の把握、主要な事業者へのアンケート調査による削減計画の把握を行います。そのポテンシャル検討として工場などのエネルギープラントの余力を公共施設などに供給する地域新電力の可能性を検討します。

自然共生については、地域特有の生態系や動植物の生息生育状況の把握、さらには企業やNPOなどによる保全活動の状況を把握し、ポテンシャルとして、公有地や工場などの緑地をビオトープ化して生態系の保全と回復を図る生態系ネットワークの形成について検討いたします。

こうした調査と検討は基本的に年内に終えて、後ほどご説明する市民意見交換会などの参考として提供していきます。

市民意見交換会についてご説明します。実施計画書では7ページですが、本日は、お手元に参加者募集のチラシの案がお配りしてございますので、こちらでご説明いたします。

本日、ご了解をいただければ、直ちにチラシの印刷に取りかかり、町内会、中学校、高校、大学などに配布して参加者を募ってまいります。

全部で4回を予定しております。第1回は私どもの九州事務所のスタッフで、SDGsカードゲームのファシリテーターの資格を持つ者が進行を行います。カードゲームをとおして持続可能な発展に至るプロセスを体験していただきます。

第2回は、東洋大学の後藤尚弘教授から資源循環社会についてのお話をいただきます。後藤教授は物質すなわち様々な資源がどのように利用されて製品となり、廃棄物となってリサイクルされたり、焼却されたりしているのか、社会のどこに、どのような無駄があるのかといった物質フローの解析を専門となされている先生です。

第3回は、名古屋大学工学部の小林敬幸准教授から地球温暖化についてお話をいただきます。小林先生はエネルギーの研究、とりわけ環境負荷の少ないエネルギー技術について研究されています。

第4回は長谷川明子先生から生物多様性についてお話をいただきます。長谷川先生はビオトープ管理士として、生物多様性に関する講演や生態系の保全と回復に関する活動をされており、愛知・名古屋で開催されたCOP10（生物多様性条約第10回締約国会議）では、愛知県や名古屋市のアドバイザーとして活躍されました。

いずれの講師も、楽しく、分かりやすくお話していただける方ばかりですので、中学生やあまり環境について良く知らないという方でもご参加いただけると思います。

できれば4回通しで参加していただきたいのですが、年末年始にかかっていることもあり、どれか一つだけでも参加していただけるようにいたします。

参加者の方々にはグループに分かれていただいて、先生方のお話を聞いていただいた後、グループごとに意見交換をしていただきますが、その際には講師の先生、市の担当者や私どものスタッフも話し合いに参加し、市民とし

てできることは何かなどをお聞きして、その後のアンケート調査や環境基本計画に反映してまいります。

8 ページをご覧ください。アンケート調査は、市民 2,000 件、事業者 200 件、中学生 600 名（全員）を対象に実施します。質問項目は市民意見交換会で出された意見などを反映して企画します。また、みよし市の環境の現状をまとめた資料を添付することとします。

事業所に対するアンケートには、温室効果ガスの削減計画や所有地における生態系配慮についても質問いたします。

市民アンケートでは、現状に対する感想をお聞きするだけでなく、過去からどのように変化したとを感じるかといった経年変化をお聞きすることとし、市の取組の成果を測定できるようにいたします。

9 ページをご覧ください。地球温暖化対策の区域施策編については、みよし市の特性として、排出量全体に占める産業部門の割合が 70%弱と非常に高いことが挙げられます。しかし、産業部門の排出量はこれまで順調に削減されてきていることが 10 ページのグラフから見て取ることができます。その一方で、家庭部門と業務その他部門では増加傾向にあることから、これらの部門での省エネを重点的に進める必要がございます。

まず、市に立地している主要な事業者に対する調査によって、現在の CO₂ 排出量を把握するとともに、今後の削減計画について調査を行い、市の計画に反映してまいります。

次に、業務その他部門には、市の公共施設が含まれておりますので、事務事業編を改定して市役所自らの省エネを推進していく必要がございます。

11 ページをご覧ください。みよし市の公共施設からの温室効果ガス排出量の削減に向けて、省エネ診断を行ってまいります。

まず、市の公共施設は 350 以上ございますが、主要な公共施設を対象として書面調査を行います。

参考資料 1 をご覧ください。

1 枚目では、毎月の電力・ガス・石油の消費量をもとに、一年間の温室効果ガス排出量のグラフを作成いたします。また、そのグラフから施設ごとの特徴を分析して、なぜこの月は使用量が多いのですかなどといった質問に答えていただきます。

2 枚目では、施設の部屋ごとに、面積や 1 日の平均使用時間、実施している省エネの工夫などをご質問します。

3 枚目では、屋根の状況、太陽光発電は設置されているか、設置する余地はあるかといった点を調査します。

この書面調査によって、市役所全体での取組の状態や課題を明らかにいたします。

実施計画書の 11 ページに戻っていただいて、②の省エネ診断の項をご覧ください。

先ほどの書面調査を行った上で、市民病院、学校給食センター、総合体育館、カリヨンハウス、市民活動センター、保健センター、歴史民俗資料館、小中学校 9 校といった主要な 16 の施設については現地調査を行います。小

中学校は全部で12校ありますが、既に3校は改修済みとのことですので、残り9校を対象としております。

現地調査は、現在の機器の状況を見せていただいて、蛍光灯など照明機器のLED化、空調機器や熱源機器の高効率機器への更新、再生可能エネルギーの導入などによる省エネ効果を算出します。

再生可能エネルギーについては、太陽光発電の導入可能性の外、地中熱による空調の導入可能性を検討いたします。地中熱による空調は、井戸水が一年を通して一定の温度を保っていて、気温との温度差を空調に利用するシステムで、地下水を汲み上げるわけではありません。状況によって汲み上げるとしても、汲み上げた地下水から熱だけをもって水そのものは地中に戻ります。例えば愛知万博の日本政府館や愛知県の瀬戸館で使用されました。また、長久手市にある「ござらっせ」という温浴施設でも利用されております。

12ページをご覧ください。高効率機器への更新の検討とともに、EMS（エネルギー・マネジメント・システム）の導入についても検討してまいります。

EMSは、対象施設における電力使用の状態を1分ごとにインターネットを通じて把握できるシステムです。これを導入して電力消費を可視化するだけで、5%程度の省エネができると言われております。さらに遠隔で常時、消し忘れや使い過ぎをチェックすることで10から15%程度の省エネ効果が期待できるとされております。

参考資料3の「地方公共団体カーボン・マネジメント強化事業」をご覧ください。環境省では、公共施設における高効率機器への更新に対する補助制度を設けております。この制度では、通常の導入、すなわち更新費全額を一括で支払う場合には導入経費の2分の1が補助されます。また、ESCO（エスコ）、後ほどご説明いたしますが、導入経費を分割で支払う場合には3分の1が補助されます。この補助制度は、来年度が最終年度となっておりますが、私どもとしては資料をお作りして、みよし市として補助申請を行うかどうかのご判断をいただくこととなります。

また、災害時の避難所となる施設への再生可能エネルギーの導入に対する補助制度がございます。参考資料4「地域の防災・減災と低炭素化を同時実現する自立・分散型エネルギー設備等導入推進事業」をご覧ください。先ほど、ご紹介しました地中熱を使った空調機器についても補助を受けることができます。例えば体育館は避難所となっていることがありますが、空調が入っていないことが多いです。暑い夏や寒さ厳しい冬に災害が起こった場合、停電していても地中熱利用による空調が動いているのは災害に対する強靱性（レジリエンス）の向上策として有効と思います。

14ページをご覧ください。生物多様性については、先ほどご説明いたしましたとおり、みよし市における生態系の状況、希少種をはじめ特徴的な野生動物の生息生育状況、さらにはNPOや企業などによる保全活動の状況及び今後の取組計画などを把握し、国のマニュアルに基づいて生物多様性戦略としてまとめてまいります。

15ページをご覧ください。計画の構成及びSDGsとの関りについては、先ほど、ご説明したとおり対応していく考えですが、具体的には、今後、環境

審議会やご担当のご意見を踏まえて検討してまいります。

説明は以上でございます。

【柴本会長】

只今、「みよし市環境基本計画」の実施計画について説明がありました。ご質問、ご意見がございましたらご発言ください。

【松浦委員】

SDGs は日本語に直すとどういう意味になりますか。

【エックス都市研究所】

持続可能な開発目標となります。参考1の堺市の例、参考2の豊田市の例にSDGsの用語の解説がございます。2015年に国連で採択されたもので、全部で17の目標が掲げられています。中には、人権やジェンダーの問題を取り上げたものもありますが、基本的には環境由来のものになっております。

【伊藤委員】

本計画は市役所の側が組織的にやっていく必要があります、環境担当だけでできるものではないと考えます。計画策定した後、横断的に取り組んでいくことができるのでしょうか。

【環境経済部次長兼環境課長】

1つの事例として、本計画の中に市民病院が入っています。市民病院はもうすぐ改修工事に入る予定となっております。その改修工事において、どのような形で改修を行えば省エネにつながるかという点を市民病院側と連携して検討していく予定となっております。

直近につきましては市民病院の例がございますが、他の公共施設につきましても同じように省エネの観点を取り入れた改修などを検討していきたいと考えております。

その他地熱発電等のお話もございますが、実現性の高いものから検討していきたいと考えております。

【環境経済部長】

スタートラインとしまして、この秋に市役所の企画政策が市役所職員を対象としまして、SDGsの研修会も行っております。全体の認知度を上げて、問題にどう取り組むかという考えが、環境部門だけでなく市役所全体で職員に浸透しつつあります。

【功刀副会長】

低炭素の分野につきまして、区域施策編で主要企業、店舗にアンケート調査を行うとあるが、どのくらいの規模の企業を「主要」とするのか教えていただけませんか。

【エックス都市研究所】

温室効果ガスの排出量が多い事業者は「特定排出事業者」として、毎年、国に対して排出量などの報告義務を負っております。そこで、特定排出事業者に対してデータや削減計画について情報提供をお願いするとともに、市内に立地する従業員 10 名以上の事業所約 800 のうち 200 事業所を対象とするアンケート調査を行います。

【功刀副会長】

みよし市内には「特定排出事業者」は何件あるのでしょうか。

【環境経済部次長兼環境課長】

この場では分かりませんので、後ほど調べてご回答いたします。

【松浦委員】

地球温暖化対策に関する説明が多かったが、環境基本計画は主に温暖化対策を対象とするものなののでしょうか、それとも環境全般を対象とするものなののでしょうか？

【環境経済部環境課副主幹】

本計画は環境という分野の中で、温暖化、資源循環、生物多様性を盛り込もうと考えております。

【エックス都市研究所】

実施計画書 6 ページの、現状の把握とポテンシャルの検討をご覧ください。本計画では、資源循環、低炭素（温暖化対策）、自然共生社会（生物多様性）の 3 つを対象としております。資源循環にはごみ処理基本計画という計画がすでに策定されており、そちらのデータを使わせていただきます。自然共生社会につきましては、地域固有の植生やそれを保全するためにどのような努力が必要かなどをまとめさせていただきます。低炭素に関しましては、国が定めた事務事業編の目標にのっとり、省エネ診断等細かな調査が新たに必要となりますので、詳しくお話しいたしました。

【エックス都市研究所】

追加的に省エネ診断につきましてどのような診断を行うのかご説明させていただきます。

参考資料 2 の一枚目をご覧ください。これは、ある自治体における診断結果の実例です。

この自治体では 10 施設を対象に診断を行いました。

上のオレンジ色の欄「年間光熱費削減計」は、10 施設における設備更新によって年間 958 万円余の光熱費が削減できることを示しています。そのため設備更新費は 1 億 5 千万円余となっています。しかし、最大で 8,300 万円余の補助を受けることができます。補助対象経費が 1 億 6,700 万円余となっ

ていて、設備更新費よりも大きくなっているのは、補助を受けやすくするために EMS の新設を加えているためです。機器更新によって CO₂ は年間 13%、265 トンの削減ができます。

個々の施設で見てください。一番上の公民館の欄をご覧ください。

この公民館では、照明の LED 化、吸収式冷温水発生器の更新、ポンプ類のインバータ制御化といった三つの省エネ策を提案しており、省エネ策それぞれの効果と経費が示されています。公民館では照明の LED 化には 95 万円の機器更新経費が掛かりますが、照明に要する光熱費は年間 20 万円程度削減できますので、概ね 4 年程度で経費は回収できることとなります。更に、補助金が獲得できれば機器更新経費は半分になるということです。

参考資料 2 の二枚目をご覧ください。ESCO による機器更新の収支見込です。ESCO による機器更新の場合には補助率が 3 分の 1 となります。10 年の償還期間として計算しておりまして、例えば公民館の LED 化では機器更新経費 95 万円の 3 分の 1 が補助され、残額を 1 年 9 万円ずつ償還するわけですが、年間光熱費削減額は 20 万円余ありますので、その差額 11 万円余は予算削減ということになります。

逆に吸収式冷温水発生器の更新では、光熱費削減額が赤字で、マイナス 195 万円余となっております。これは、設備更新費 3,700 万円を年間光熱費削減 136 万円余だけでは償還することができないため、195 万円ずつ 10 年間お支払いくださいという結果を示しています。逆の言い方をすれば、3,700 万円の設備を一年 195 万円かける 10 年の負担で導入できるということになります。

私どもは、こうしたシミュレーションをさせていただいて、みよし市の意思決定の参考資料としていただくわけでございます。

【柴本会長】

その他ご意見などございませんか。

ご意見等も出ましたので、「みよし市環境基本計画」については、実施計画書に基づき実施することとさせていただきます。

続きまして、「新リサイクルステーションの建設」について、事務局より説明をお願いします。

【環境経済部環境課副主幹】

「新リサイクルステーションの設置」について、ご説明させていただきます。次第の一番後ろについております A3 の紙をご覧ください。

現状と背景につきまして、ごみの減量・リサイクルの推進という観点から、平成 12 年と平成 15 年より、三好丘にありますメグリアと JA みよしグリーンステーション西駐車場に 2 か所のリサイクルステーションが設置されています。これらの設置によりごみの減量を進めてまいりましたが、今後もさらにごみの減量・リサイクルを推進していくため、3 か所目のリサイクルステーションの設置を計画、準備を進めています。

設置の場所につきましてはみよし市三好町井ノ花地内三好公園のグラウンドゴルフ場を約 1/3 ほど使い、リサイクルステーションを新設いたします。場所でいうと、TSUTAYA さんの隣の駐車場兼ゲートボール場となっていたところでございます。

内容としましては、資源回収棟を 1 棟、管理をしていただく方の休憩所も兼ねた事務室を 1 棟、小型家電の回収棟が 1 棟となっており、現在「JA みよし」の隣にあるリサイクルステーションとほぼ同等の大きさで、また回収の品目につきましても資源が 22 品目と、小型家電の合わせて 23 品目の回収を予定しております。

図面をご覧ください。駐車場部分を右側にとりまして、左側の上の方から順に「小型家電」、「資源回収棟」、「事務室」の順に設置をする予定となっております。

また、開設の時間は午前 10 時から午後 6 時まで、休業日は 12 月 29 日から 1 月 3 日までの正月休みのみとなっております。

回収の見込み量としましては 864 t で、現在あるリサイクルステーションと同等の回収量を見込んでおります。

設計につきましては、今年度当初より始めておまして、現在設計は上がっております。建築工事、またその後の開設の予定につきましてもそのまま進めてゆき、現時点では来年の 3 月の開所を予定しております。

開設いたしましたら、より多くの方にお使いいただけるように事務局の方で PR もしていく予定となっておりますので、よろしく願いいたします。以上です。

【柴本会長】

只今、「新リサイクルステーションの建設」につきまして説明がありました。ご質問、ご意見がございましたらご発言ください。

【伊藤委員】

非常にいいことであると期待をしております。「JA 三好」付近のステーションが南、「メグリア」駐車場のステーションが北、今回新設されるものがその中間にあたるものだと思います。

「メグリア」の駐車場にあるリサイクルステーションにつきまして、少し狭いように感じているのですが、そのあたりは問題ないのでしょうか。

【環境経済部次長兼環境課長】

私どもの方でも、「メグリア」については、最初に開設した施設でして、老朽化による雨漏り等もみられるといった状況となっております。そのため、新リサイクルステーションの開設後、状況を見つつ「メグリア」とも交渉していくことを環境課の内部でも考えております。

【松浦委員】

リサイクルステーションと関係あるのかはわかりませんが、残土の回収を

何とかしてほしいと考えております。環境課としては、区で対応してほしいとの答えでしたが、何とか手立てはないでしょうか。

【環境経済部次長兼環境課長】

区の側溝清掃を行われた際に出てくる残土についてのお話でしょうか。

【松浦委員】

はい。区のイベント等で発生するものについてです。

【環境経済部次長兼環境課長】

市としても難しいところでございます。事業において発生した残土についても事業者側が処理してもらうような状況になっております。

残土を捨てる場所がないというのが問題となっておりまして、他の自治体においても捨て場所が問題となっております。

事業者が残土を引き取り、改良土へと戻すような事業を行っているところはございますが、ただ単に埋めるとなると全て有料化されている状況でございます。

処分場につきましてもコンクリートがらのみが許容されており、残土の処分は難しい状況となっております。

【柴本会長】

ご意見等も出ましたので、「新リサイクルステーションの建設」については、来年3月を目標に建設をすすめさせていただきます。

【柴本会長】

以上で本審議会に提案された議題は以上ですので、事務局にお返しします。

【環境経済部次長兼環境課長】

本日は、長時間にわたりありがとうございました。本日功刀先生にご指摘いただいた点は、確認させていただきますので、少しお待ちいただければと思います。本日のご意見等を踏まえまして、「みよし市環境基本計画」、「新リサイクルステーションの建設」を進めさせていただきます。以上を持ちまして審議会を終了します。

皆様、本日はありがとうございました。